

町と地域総合交流協定を結んでいる酪農学園大学の協力を得て、7月17日、温泉中学校の全校生徒26人が、洞爺湖の水質調査を行い、身近な自然を通じて環境について考えました。

総合学習の一環として行ったもので、湖の水質とウチダザリガニの生態調査の2班にそれぞれ分かれて実態を調査しました。

水質班は、環境のバロメーターといわれる湖水に含まれる



ウチダザリガニを観察する生徒たち

る酸素の量などを測定。ウチダザリガニ班は、捕獲した個体の性別や大きさを調査しました。

## 温泉中総合学習で洞爺湖の水質調査 身近な自然を通して環境学習

## 財田周辺の自然を観察 葉っぱでマイバッグづくり

7月24日財田自然体験ハウスで、自然ふれあい行事「虫食い葉っぱでマイバック！」が行われ、4組の親子連れが参加して、自然観察とマイバッグ作りを楽しみました。

参加者は、葉を食べる生き物について学んだのち、体験ハウスの周りを約1時間ほどかけて、虫食い葉っぱや幼虫を採取。

同ハウスに戻り全員で採取した葉や幼虫を観察し、葉を食べる生き物について学びました。



葉っぱをプリントしたマイバッグを完成させる子どもたち

引き続き、採取した葉っぱを布製のバッグにプリントして、思い思いのマイバッグを完成させました。

## おもちゃ作りで自然エネルギーを学ぶ ビジターセンター自然ふれあい行事

7月17日洞爺湖ビジターセンターで、自然ふれあい行事「しぜんエネルギーで遊ぼう」が、親子



ふうりん車づくりに取り組む子どもたち

づれなど7人が参加して開かれ、身近な自然エネルギーについて学び、風で動くおもちゃ作りを楽しみました。

最初に同センターの藤井さんから、ビジターセンター内にあるソーラーパネルなど、利用されている自然エネルギーについて説明を受けました。

その後自然エネルギーを体感しようと、風の力で動く手作りふうりん車作りが行われ、完成したふうりん車をうちわで風を起し、動かして楽しみました。

## 教 育 委 員 会

が主催する夏の恒例行事「レイクスポーツフェスティバル」が、7月17日洞爺地区カヌー艇庫前で行われました。



バナナボートから振落とされる子どもたち

強い日差しが降り注ぐ中、約50人の小中学生が参加して、カヌーやバナナボートなどの遊びを楽しみました。

大人気のバナナボートには、順番の列ができ、まだ多少冷たい湖水に振落とされるパフォーマンスに、歓声を上げていました。

昼食には、ギンギスカンが提供され、おなかをすかした子どもたちが焼き台の周りを囲み、肉を口いっぱいほおばっていました。

レイクスポーツフェスティバル

## マリンスポーツで夏を楽しむ



# まちのわだい